

CMI 株式会社

本社:東京都港区三田三丁目14-11 鳥和三田ビル8階

お問合電話:+81-3-6453-9601

2020年6月10日

中国全人代表は良質な原料炭の輸入拡大を提案

第13期全国人民代表大会第3回会議で、全国人民代表大会代表である中国宝武武漢鋼鐵有限公司製造管理部科学技術成果（特許）管理部長の**袁偉霞氏**と全国人民代表大会代表、江蘇沙鋼集團淮鋼特鋼股份有限公司の圧延現場副主任の**楊庚豹氏**は、鉄鋼産業用の原料炭の中国の現状に対して、良質な原料炭の輸入を適度に拡大し、鉄鋼産業のグリーン発展を促進することを提案した。

原料炭は鉄鋼用コークス生産の原料で、コークスは高炉生産で主要な燃料と還元剤である。中国の石炭資源は比較的豊富だが、炭種で見ると、一般炭資源は豊富だが、原料炭は賦存量が少ない、硫黄などの不純物含有量が多く品質が劣っている。そのため、コークスの生産工程で脱硫脱硝処理は高いコストをかけて、またその処理後の排出物の二次処理、或いはリサイクル利用に費用がかかり、鉄鋼産業のグリーン発展が直面する主要課題となっている。

鋼鉄生産に不可欠な原料炭は低硫黄分のもを使うと、硫黄酸化物の排出削減に効果がある。中国国内の良質な低硫黄分石炭（硫黄含有量が1%以下）の埋蔵量は少なく、製鉄所の需要を満たすことができない。そこで、各大手製鉄所は良質な原料炭を輸入しはじめており、これでコークスの強度を高めると同時に硫黄酸化物の排出を大幅に低減し、国家の環境規制を満たすこととなる。

中国は環境規制が厳しくなり、製鉄所は主要原材料に対する品質要求もますます高まっていく。全人代表の袁偉霞氏と楊庚豹氏は中国の輸入炭は主に一般炭とその他の石炭であると指摘した。

税関の統計では、2019年に中国の石炭輸入量は約3億トンで、そのうち、原料炭は7,466万トンで、輸入炭総量の24.9%を占める。一般炭と他の石炭は輸入炭総量の75.1%である。

輸入炭には、一般炭より原料炭の品質が優れているため、低硫黄分の良質な原料炭を企業が多く輸入すべきことを提案する。

この3年間、国家発展改革委員会は関税により輸入炭の量をコントロールするよう要求している。税関では、輸入量が前年同等以下にしなければならないというやりかた、また通関手続きをを延ばすようにしたり対策をとっている。

鉄鋼企業は硫黄酸化物の排出を低減し、汚染を抑え、また通関に余分な時間かかる問題からもたらした原料不足の問題を解決するには、一定量の良質な低硫黄炭の輸入を利用しなければならないが、これは製鉄所にとって資金増となると同時に、国際石炭価格の高騰にもつながっている。これに対して、袁偉霞氏と楊庚豹氏は以下のように提案した。

一、火力発電用一般炭の輸入をコントロールし、適度に良質な原料炭の輸入を増加する。

中国の一般炭の年間輸入量は原料炭より圧倒的に多いが、原料炭ほど品質が求めて輸入するわけではない。とくに一般炭の大量輸入は国内の炭鉱企業に生産への影響を与えている。そのため、環境保護、国内の原料炭資源と炭鉱企業を保護する観点から、一般炭の輸入を制限し、良質な原料炭の輸入量を増やすことを提案する。

二、輸入炭の通関時間を短縮し、企業の負担を軽減する。

現在、輸入炭の通関は時間がかかり、製鉄所にとって資金増となることで、通常に通関できるよう企業負担を軽減することを提案する。